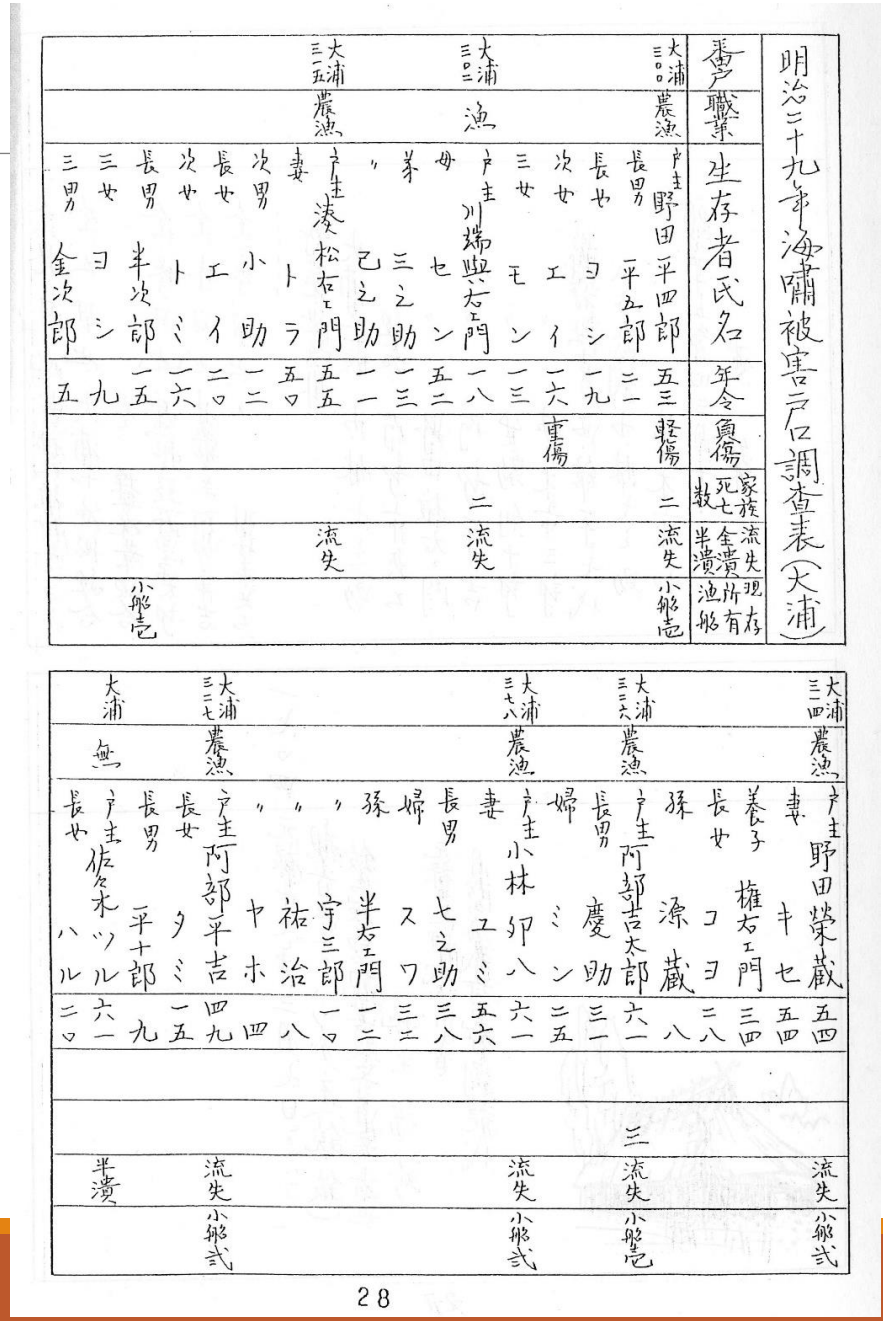
平成29年3月4(土)・5日(日)
於・コムナーレ9F：さいたま市民活動サポートセンター

馬場小室山遺跡研究会
第78回ワークショップ・ポスター発表

聞き取り調査にもとづく
明治三陸地震津波被災範囲の復原
―岩手県山田町大浦を例に―

齋藤瑞穂（新潟大学／山田湾まるごとスクール）川端弘行（山田史談会）

「明治二十九年海嘯被害戸口調査表（大浦）」



明治二十九年海嘯被害戸口調査表（大浦）

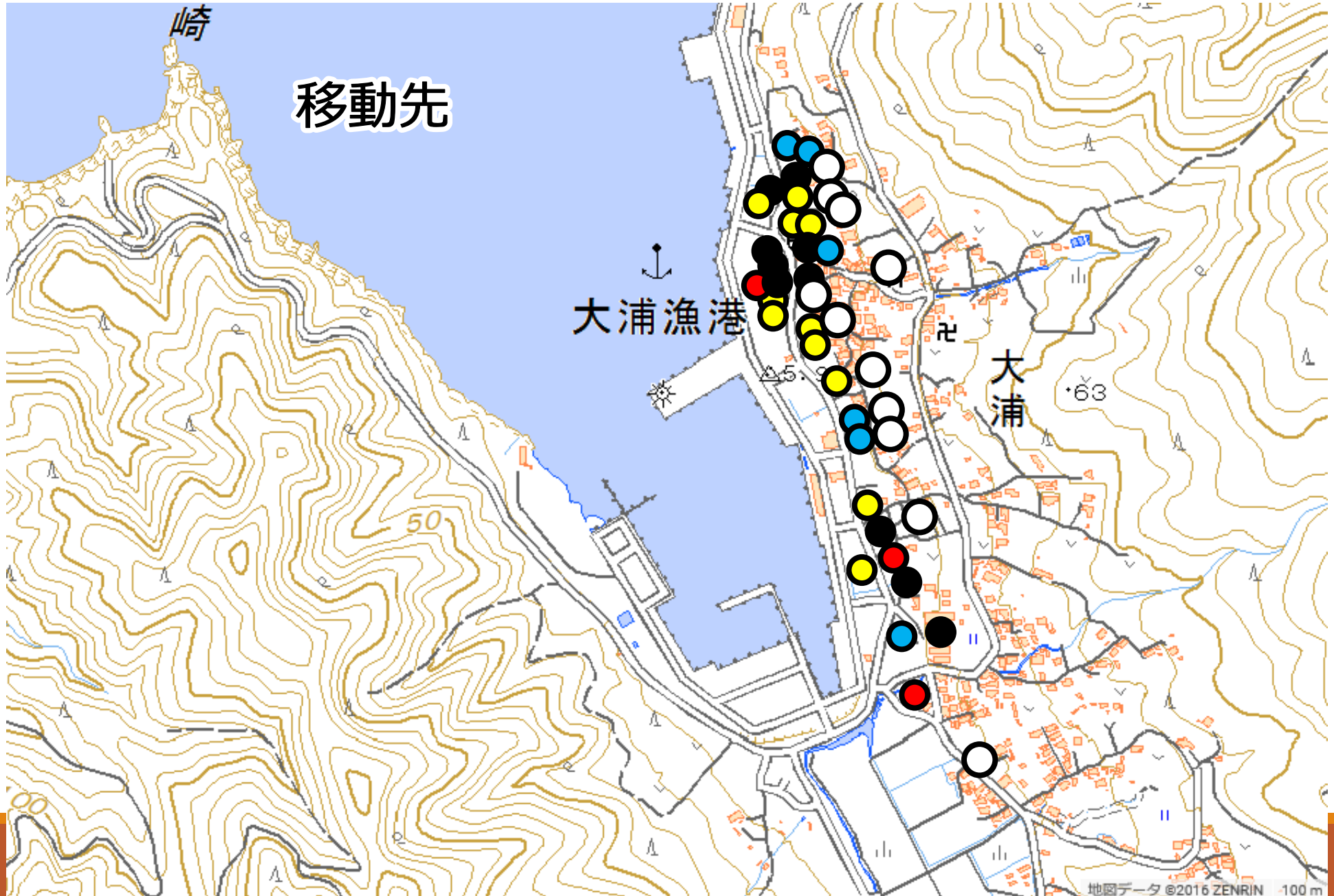
番戸	職業	生存者氏名	年令	負傷	家族死亡数	流失全潰半潰	現存所有漁船
大浦三〇〇	農漁	戸主 野田平四郎	五三	軽傷	二	流失	小船壱
		長男 平五郎	二一				
		長女 ヨシ	一九				
		次女 エイ	一六	重傷			
		三女 モン	一三				
大浦三〇二	漁	戸主 川端與右エ門	一八		二	流失	
		母 セン	五二				
		弟 三之助	一三				
		〃 己之助	一一				
大浦三一五	農漁	戸主 湊松右エ門	五五			流失	
		妻 トラ	五〇				
		次男 小助	一二				
		長女 エイ	二〇				
		次女 トミ	一六				
		長男 半次郎	一五				小船壱
		三女 ヨシ	九				
		三男 金次郎	五				
大浦三一四	農漁	戸主 野田榮蔵	五四				流失 小船弐
		妻 キセ	五四				
		養子 権右エ門	三四				
		長女 コヨ	二八				
		孫 源蔵	八				
大浦三二六	農漁	戸主 阿部吉太郎	六一		三	流失	小船壱
		長男 慶助	三一				
		婦 ミン	二五				
大浦三七八	農漁	戸主 小林卯八	六一			流失	小船弐
		妻 ユミ	五六				
		長男 七之助	三八				
		婦 スワ	三二				
		孫 半右エ門	一二				
		〃 宇三郎	一〇				
		〃 祐治	八				
		〃 ヤホ	四				
大浦三二七	農漁	戸主 阿部平吉	四九			流失	小船弐
		長女 タミ	一五				
		長男 平十郎	九				
大浦	無	戸主 佐々木ツル	六一				半潰
		長女 ハル	二〇				

28

「お宅はもともとどこに？」
―仮設住宅集会所での聞き取り調査―

明治三陸津波における大浦地区の被害実態
ー聞き取り調査の成果①ー

大浦地区における明治三陸津波後の高台移転
―聞き取り調査の成果②―



まとめ／明らかになったこと
ー学びあうことによって生まれた成果ー

①明治三陸地震津波において，大浦では海岸道路沿いの家屋が被災した

②被災後の大浦の人々は，大した距離を移転していない
　　＝浸水限界の**すぐ外**に移動！！

③平成の復興住宅は川半貝塚の高台緩斜面部に造成！！

→以上は**近代における漁業集落事情**【海への最短立地】と**縄文時代川半貝塚の立地**【１段以上高い段丘や斜面】の対比です。**津波災害と生活再建の人類史**として理解しましょう！